

令和8年度

新名神高速道路の整備促進に関する

要 望 書

令和8年6月

新名神高速道路建設促進協議会

要 望 書

高速道路は、我が国の産業発展に資するとともに、大規模災害時における広域支援ルートとして国民の命を守る社会資本の要である。

激甚化・頻発化する災害による脅威に対応していくため、平時だけでなく災害時でも安定的に人流・物流を支え、国民の生命・財産を守る強靱な高速道路ネットワークの構築、暫定4車線の6車線化など既存高速道路の機能強化及び持続可能な維持管理が求められている。

中でも新名神高速道路は、新東名高速道路とともに三大都市圏を結ぶ大動脈であり、全線開通により広域的な交通を担うことで社会経済に大きく貢献することが期待されている。

新名神高速道路では、「名港中央・大津間」、「城陽・八幡京田辺間」、「高槻・神戸間」が開通したものの、いまだに未整備区間や暫定4車線区間が残っており、高速道路整備によるストック効果を更に波及させるには早期の全線整備が不可欠である。

このことから、次の事項について強く要望する。

1 全線開通を早期に図ること

「大津JCT（仮称）～城陽JCT・IC間」、「八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間」において安全に十分配慮したうえで、工程を精査し、早期に開通時期を明らかにするとともに、一日も早い開通を図ること

2 6車線化事業中区間の早期完成を図ること

事業中の「亀山西JCT～大津JCT（仮称）間」、「大津JCT（仮称）～城陽JCT・IC間」、「八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間」の6車線化について、早期完成を図ること

3 6車線化未事業化区間の早期事業化を図ること

「四日市JCT～亀山西JCT間」、「城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC間」「高槻JCT・IC～神戸JCT間」の6車線化について、早期事業化を図ること

4 国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図ること

新名神高速道路とともにネットワークを形成する高規格道路やICアクセス道路の整備を推進するため、国土強靱化基本法に基づく国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算については、頻発する災害も踏まえ、通常道路予算とは別枠で必要な予算を満額確保すること

5 計画的・長期安定的な道路事業のための予算確保を図ること

日本列島を強く豊かにするため、資材価格の高騰、近年の建設業における人件費の上昇等の影響を十分に踏まえ、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和9年度道路関係予算は、所要額を満額確保するとともに、有料道路事業における必要な財源確保についても検討すること

令和8年6月

新名神高速道路建設促進協議会

会長 京都府知事 西脇 隆俊

新名神高速道路建設促進協議会

会 長 京 都 府 知 事 西 脇 隆 俊

副 会 長 愛 知 県 知 事 大 村 秀 章

副 会 長 三 重 県 知 事 一 見 勝 之

副 会 長 滋 賀 県 知 事 三 日 月 大 造





副 会 長 大 阪 府 知 事 吉 村 洋 文

副 会 長 兵 庫 県 知 事 齋 藤 元 彦

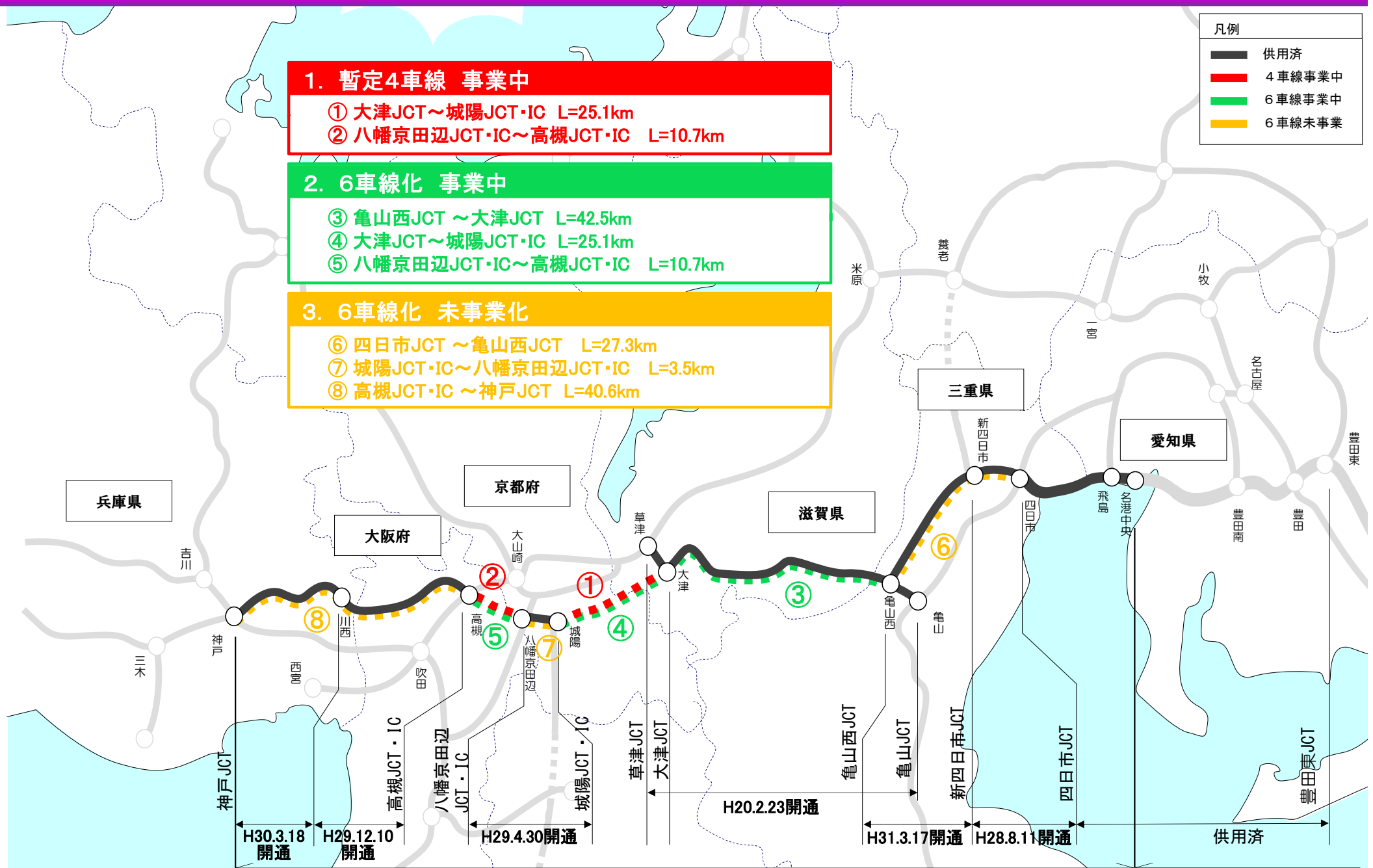
監 事 名 古 屋 市 長 広 沢 一 郎

監 事 神 戸 市 長 久 元 喜 造

新名神高速道路の整備状況

凡例	
	供用済
	4車線事業中
	6車線事業中
	6車線未事業

- 1. 暫定4車線 事業中**
 - ① 大津JCT～城陽JCT・IC L=25.1km
 - ② 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC L=10.7km
- 2. 6車線化 事業中**
 - ③ 亀山西JCT～大津JCT L=42.5km
 - ④ 大津JCT～城陽JCT・IC L=25.1km
 - ⑤ 八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC L=10.7km
- 3. 6車線化 未事業化**
 - ⑥ 四日市JCT～亀山西JCT L=27.3km
 - ⑦ 城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC L=3.5km
 - ⑧ 高槻JCT・IC～神戸JCT L=40.6km



新名神高速道路 L=約174km

新東名高速道路